

いすみ生物多様性戦略

生物多様性豊かな地域づくり

里山里海を守り伝える人づくり



松下優子・画

豊かな生物多様性を保全・回復させ、環境と経済をつなぐ
里山里海再生により、みんな元気に幸せに、いすみの自然と
文化を誇りとしてくらす持続可能な社会を目指します。



イスマスズカケ



2014年4月に飛来したコウノトリ



山田川での自然体験

生物多様性とは

生物多様性とは、生物・生命のにぎわいとつながりのことです。地球上には、40億年という長い歴史の中でさまざまに進化した3,000万種以上とも言われる多種多様な生物が生きています。私たち人間も含め、そのすべては自分一人、ただ一種だけで生きていくことはできません。

すべての生物・生命はたくさんの命とかわり、互いにつながって初めて生きていくことができるのです。私たち人間も、この生物多様性の恩恵をうけて生きています。



港の朝市



いすみ市の生物多様性

いすみ市には、ほかの地域では見られないいろいろな生きものが見られます。天然記念物のミヤコタナゴをはじめ、固有種のイスマスズカケやイスマナガゴムシ、絶滅危惧種のアカウミガメ、コアシサシ、また、山田源氏ぼたるの里やトンボ沼、器械根、太東海浜植物群落、夷隅川河口干潟などの貴重な場所もあります。

いすみ市は多様な自然環境に育まれた、たぐいまれな生物多様性豊かな里山里海の地なのです。



親子森林体験



水辺の子もたち

生物多様性いすみステーション（仮称）

いすみ生物多様性戦略を進めるために、市役所に、生物多様性いすみステーション（仮称）を設置します。これからは、このステーションが中心となり、いすみ市の生物多様性の保全・再生を進めます。

希少種の保護にかかわることや外来生物にかかわること、市民団体や関係機関との連携も強めます。どうか皆さん、いすみステーションにお力をお寄せください。

いすみ生物多様性戦略とは

この素晴らしいいすみ市の財産である生物多様性を守り活かすために、「いすみ生物多様性戦略」をつくりました。市民の声をできるだけ集めて、いつまでもみんなが元気で幸せにくらせるいすみ市になる取り組みをまとめました。

この取り組みは市役所だけでできることではなく、市民の皆さんと一緒に力を合わせてこそ進められるものです。誰もがこの生物多様性の重要性を理解し大切にしていけば、このいすみ市の豊かな生物多様性は、私たちに大きな恵みをもたらし続けます。



ハマオモト



大風はだか祭



夷隅川河口干潟



イスマナガゴムシ

いすみ市役所 農林水産課

〒298-8501 千葉県いすみ市大原 7400-1

生物多様性いすみステーション（仮称） 電話 0470-62-1280 FAX 0470-63-1252

「いすみ生物多様性戦略」の全文は、いすみ市のHPからダウンロードできます。

<http://www.city.isumi.lg.jp/>

2015年2月 いすみ市

「いすみ生物多様性戦略」の7つの対策の柱と重点事業

市民の皆さんから寄せられた生物多様性にかかわる課題と取組に関するご意見（463件）をもとに、7つの対策の柱を立て、各対策ごとに複数の取組事業（全186件）を策定しました。そしてさらにその中から以下の重点事業（38件）を設けました。

環境改善の分野

1

里山里海の自然・文化の保護・保全

（事業件数41、重点5）

- ◇ウミガメを守り育てる活動の推進
- ◇コウノトリが生息できる自然環境の整備
- ◇国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」生息地の保全
- ◇希少生物保護のための基金設立の検討
- ◇夷隅川河口湿地の保全と再生

2

里山里海の放棄・荒廃地の再生・管理

（事業件数48、重点6）

- ◇自然と共生する里づくりモデル水田事業
- ◇自然と共生する里づくり
- ◇環境保全型農業の推進
- ◇環境保全型農業と経済の自立促進・支援
- ◇環境保全型農業基盤の整備促進
- ◇小・中学校での「生物多様性教育」

3

外来生物・野生鳥獣害の防除・管理

（事業件数16、重点2）

- ◇「いすみ市外来生物・野生鳥獣害対策協議会（仮称）」を設置
- ◇千葉県生物多様性センター等との連携・協力

4

地域環境や先人の知恵の学び・継承

（事業件数21、重点5）

- ◇「いすみ生物多様性先人の知恵物語（仮称）」の作成
- ◇いすみ市の生物多様性に関するカリキュラムの開発と各学年の教育課程への位置づけ
- ◇各小学校に水田ビオトープの創出と水田の生きものの観察・調査
- ◇生物多様性の保全と持続可能な里山里海の暮らしについての講座開催
- ◇いすみ子育てジャンボリー（幼児と保護者）の開催

5

生命感じる自立・循環のライフスタイル

（事業件数15、重点3）

- ◇学校給食での有機米・有機農産物の使用
- ◇水田ビオトープ・学校区の子ども自然体験フィールドの確保
- ◇空き家バンクの運営

普及・利用の分野

6

生物多様性を活かした産業創造

（事業件数37、重点12）

- ◇人もコウノトリも暮らせる農村環境整備の推進によるいすみブランドの確立
- ◇食味が自慢の「いすみ米」ブランドの創出
- ◇化学肥料・農薬使用を低減した環境にやさしい農業による農産物のブランド化の推進
- ◇いすみブランドづくりの推進
- ◇新規水産加工品の発掘支援
- ◇加工品の付加価値を高めた水産物のブランド化の促進強化
- ◇食を中心の新たな観光の推進
- ◇「生物多様性を活かした産業創造懇談会（仮称）」の設置
- ◇都市住民を対象としたツーリズムの推進
- ◇産地直送による全国を視野に入れた消費拡大と販路拡大の検討
- ◇新たな観光資源の発掘といすみブランドの創出・育成・強化
- ◇いすみ市の食材を活用した食事メニューの開発

7

生物多様性を担う組織・拠点の設置

（事業件数8、重点5）

- ◇生物多様性いすみステーション（仮称）の設置と運用
- ◇生物多様性いすみステーション（仮称）によるNPOや市民との連携活動促進
- ◇生物多様性いすみステーション（仮称）による千葉県生物多様性センターやいすみ環境と文化のさと、大学、研究所などとの連携
- ◇生物多様性いすみステーション（仮称）による「庁内いすみ生物多様性戦略連絡会議」の運営
- ◇いすみ生物多様性戦略にかかる施策の推進



スナメリ



コハクチョウ



ミヤコタナゴ



アカウミガメ



生物多様性のロケ作り

市民の役割

市民の方々には、生物多様性の恵みが私達の生活を支えていることを理解し、生物多様性に配慮したライフスタイルを実践することが望まれます。また、家族や特に子どもたちへ自然の大切さを伝え、自然や生きものとのふれあいの場づくりをはじめ、地域内外でのさまざまな生物多様性の保全・再生の活動に参加することが期待されます。